

中国、電気料金を実質値上げへ！

JSC 貿易部ニュース 中国編

今月も日本石材センター貿易部発行のメールマガジンに目を通して下さりありがとうございます。

緊急事態宣言解除にともなう経過措置期間も終わり、街にも少し活気が戻ってきたように思う今日この頃ですが、引き続き感染対策には万全を期して、お客様のお役に立てるよう頑張ってお参りたいと思います。

さて最近、テレビ・新聞で世界各地の電力不足が大きなニュースとして取り上げられています。石材業界においても中国の計画停電の先行きは、日々の仕事に大きな影響を及ぼすため、ご心配なところではないかと思えます。

幸い、直近では福建省や泉州市の工信部（中国の工業および通信を管理する部局）名義の通知で、「11月1日から福建省内の電力制限措置を暫定的にストップする」との情報も流れたりするなど、暫定的な措置とのことながら状況改善の兆しも見えてきました。

影響が拡大するに伴い、営業現場からは「収束はいつ？」「今後の見通しは？」など、お客様にお知らせするための正確な情報を求める声が大きくなってきており、わたしたち貿易部の方でも毎日現地への聞き取りや中国国内ニュースの分析などを行っている訳でございます。

今回の中国の計画停電と電力値上げですが、調べておみると、どうやら単純な石炭の需給問題だけでなく、色々な思惑が重なりあった国策としての一面もあるようです。

いま、世界中が『カーボンニュートラル』へと舵を切っていますが、その中で太陽光発電・風力発電・蓄電池で世界の生産力を有する中国が、国内産業を脱炭素へと推し進める『第14次五カ年計画の省エネ目標』のための調整といった側面も大きいようです。

実は、近年中国においては電気料金の値下げが実施されていました。

電気料金の値上げは『輸出の停滞や経済発展そのものに悪影響をもたらす』として、2018年と19年には電気料金を10%、20年にはさらに5%値下げするよう指示が出されていました。そしてそれらは国内の石炭採掘の増産や海外からの石炭輸入で実現していたのだと思います。

しかし、先にも書きました中国の『循環経済の発展に関する第14次五カ年計画』では新たに省エネ目標が打ち出されました。世界的時流となっているカーボンニュートラルの実現に向け、2021年からの五年間でGDP当りのエネルギー消費量とCO2排出量の13.5%削減が課せられています。毎年3%を削減することとなっており、中央政府は地方政府に達成目標として、この省エネ目標を振り分けています。毎年12月に評価が行われ、翌年に結果が公表される訳ですが、目標の未達成など地方政府にとってはあってはならないこと。目標は必達ですから、目標達成のために各省は致し方なく電力消費を抑えにかかっているという状況の様です。目標達成の期限は12月。こうした期日のプレッシャーもあって、各地で続々と計画停電が実施されているとの見方が有力なようです。こういったことも考えあわせると少なくとも年内くらいは予断を許さない状況が続くのではないかと思います。

10月に入り福建省の石材工場は、大きな工場だと「4日停電・6日稼働」、小さな工場だと「8日停電・4日稼働」といったような要求を地方政府から受けたりしていました。

こういった不安定な電力供給の中で納期に間に合わせるために、石材の生産現場では工員さんの拘束時間が長くなる状態が続いています。労働時間そのものが長くなり、連日深夜作業が続くなど疲れが溜まってきているようで、生産量が3～4割ダウンしている状態です。

加えて、どの工場も製品の品質が低下してきています。停電回避のため大口径など電力消費の大きい作業は夜間に行うのですが、夜間に切った石は問題の発見が難しく、当社も検品強化などの策は講じていますが、品質が安定しないという問題があります。

今回の計画停電は、電気料金を値上げして、国家目標の省エネ目標をクリアし、更に『カーボンニュートラル』も実現するという中国流の脱炭素推進に向けたアプローチのようですが、結局あおりを受けるのは中小の民間工場です。

工場だけを計画停電させて、市民不満を広げない様に配慮しているのだと思いますが、

工場経営者の皆さんは頭が痛いところだと思います。この状況下で生産を継続するため、多くの工場が一日10万円から15万円の費用発生が伴う自家発電を回して生産していることから、お客様にもご協力をいただく事態になっている訳ですが、各地方政府には、早々に目標をクリアしてもらい計画停電が一日も早く終わる事を願います。

【今月のお薦め石種】

最近、なかなか抜群のニューフェイスの登場がないので、個人的にも大好き、石質も優良ながら不思議と取扱い石材店様が少ない石をご紹介します。

その石は、インド産の「ジョージグレイ」です。この石は、アーバングレー丁場の大きな帯の層から採掘されている石で、非常に変わった石です。一般的に帯は避けるものですが、敢えて帯の部分の採掘して、ひとつの石種として売り出している石です。

すでにご利用になっているお客様もいらっしゃると思いますが、硬くて吸水がないと評判の石で、競合店と差別化を図りたいという石材店様に支持されてきた石でもあります。



他にはない個性的な石目で、艶のりも非常に良いです。単価は少しお高めですが、品があつて建立後も墓地で存在感を発揮する石です。

ご興味の石材店様は、是非当社の営業担当にお尋ね下さい。
それでは、今月も最後まで読んで頂き有難うございます。

先を見通しづらい状況ではございますが、引き続きお客様の商売繁盛を精一杯応援してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。